

仲田崇志¹・永益英敏²・大橋広好³：

「第18回国際植物学会議（メルボルン）で変更された発表の要件：
電子発表の意味するところ（Changes to publication requirements made at the XVIII
International Botanical Congress in Melbourne: what does e-publication mean for you.

Knapp, S., McNeill, J. & Turland, N. J. *Taxon* 60: 1498-1501, 2011）」の紹介と日本語訳

国際植物命名規約（International Code of Botanical Nomenclature：今回、International Code of Nomenclature for algae, fungi, and plantsへと変更された）は6年ごとに開かれる国際植物学会議の場で定期的に改正されている。最新の規約改正は2011年7月に開かれたメルボルン会議の場で採決され、改正版（メルボルン規約）は2012年の半ば頃に出版される見込みとなっている。メルボルン会議で採決された改正は非常に大きなもので、特に影響の大きい変更としては、1) 電子出版のみでの出版が有効発表として認められること、2) ラテン語だけでなく英語による記載文または判別文も正式発表の要件として認められること、そして3) 菌類の新分類群の正式発表の要件として新たに学名の登録が加わったこと、が挙げられる。

これらのうち1)と2)の条項はメルボルン規約出版に先立つ2012年1月1日より発効するため、急ぎ周知する必要がある。今回訳出したKnapp *et al.* (2011)は、特に電子出版に関する条項を中心に改正点を解説したもので、*Taxon*誌を初めとする多数の雑誌に英文が掲載されており、Creative Commons Attribution Licenseの下での利用が認められている。また、中国語、ポルトガル語、ロシア語、およびスペイン語への翻訳も現在進められている。我々は、本論文の邦訳を複数の邦文誌に掲載し、メルボルン規約の周知に役立てたいと考えている。日本語への翻訳にあたっては、メルボルンでの命名法部会の議長を務めた第一著者のKnapp博士からも承認と激励のメールをいただいた。

今回の翻訳では規約条文の草稿や重要な用語も訳出されて

いるが、これらは暫定的なものであり、メルボルン規約の正式な翻訳は規約出版後に日本植物分類学会の命名規約邦訳委員会によって出版される予定である。

なお、詳細な規約の改正点や他の重要な変更については、*Taxon*誌にいくつかの解説が掲載されているため、そちらも参照して頂きたい（Knapp *et al.* 2011, McNeill & Turland 2011, McNeill *et al.* 2011, Smith & Figueiredo 2011, Smith *et al.* 2011）。

引用文献

- Knapp, S., McNeill, J. & Turland, N. J. 2011. Changes to publication requirements made at the XVIII International Botanical Congress in Melbourne: what does e-publication mean for you. *Taxon* 60: 1498-1501.
- McNeill, J. & Turland, N. J. 2011. Major changes to the Code of Nomenclature - Melbourne, July 2011. *Taxon* 60: 1495-1497.
- McNeill, J., Turland, N. J., Monro, A. M. & Lepschi, B. J. 2011. XVIII International Botanical Congress: Preliminary mail vote and report of Congress action on nomenclature proposals. *Taxon* 60: 1507-1520.
- Smith, G. F. & Figueiredo, E. 2011. Conserving Acacia Mill. with a conserved type: What happened in Melbourne. *Taxon* 60: 1504-1506.
- Smith, G. F., Figueiredo, E. & Moore, G. 2011. English and Latin as alternative languages for validating the names of organisms covered by the International Code of Nomenclature for algae, fungi, and plants: The final chapter. *Taxon* 60: 1502-1503.
- (¹ 慶應義塾大学先端生命科学研究所, ² 京都大学総合博物館, ³ 東北大学植物園津田記念館)